

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気「緩やかに回復」維持、財務省の1月経済情勢報告

・財務省は1月の経済情勢報告をまとめた。全国の景気判断は「緩やかに回復しつつある」で据え置いた。据え置きは10四半期連続。地域別では全11地域のうち北陸と沖縄の判断を引き上げ、残りは維持した。北陸の判断は「緩やかに持ち直している」から「持ち直している」に沖縄は「回復している」から「緩やかに拡大しつつある」に上方修正。

◆1月消費者心理、2カ月ぶりの上昇 基調判断「持ち直し」維持

・厚生労働省は2027年度に要介護認定の申請を代行できる事業所を増やす方針。認知症対応型の共同生活介護を提供する施設など新たに4種類の事業所を加える。介護を受ける人は増加しており、利便性の向上につなげる。要介護認定は原則、介護保険サービスを受ける本人か家族が市区町村の窓口で申請する。

◆世界で金投資膨張、2025年は8割増 採掘量の6割占める

・国際調査機関のワールド・ゴールド・カウンシル(WGC)は2025年の金(ゴールド)の需給統計を発表した。投資需要が前年比で8割増え、25年の採掘量の6割に相当する規模に膨らんだ。地政学リスクの悪化など世界情勢に不透明感が強まり、相対的な「安全資産」として金を求める動きが勢いづいた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆積水化学工業の4～12月期、純利益30%減 プラント撤収響く

・積水化学工業が発表した2025年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比30%減の478億円。ごみをエタノールに変換する技術の実用化を目指して稼働していた実証プラントを撤収した影響で、149億円の減損損失を計上。売上高は微増の9599億円だった。高価格帯の一戸建てや集合住宅の販売が堅調に推移した。

◆2025年国内建設受注額12%増 過去10年で最高額に

・日本建設業連合会(日建連)が発表した2025年通年の国内建設受注額は、前年比12%増の20兆4876億円だった。プラスは5年連続。集計企業数に変更はあるものの、過去10年で最高額となった。加盟92社の受注額を集計した。そのうち民間からの受注額は18%増の15兆6520億円。非製造業が22%増とけん引した。

◆2月の電気料金、東京電力など9社引き上げ 燃料価格上昇で

・電力大手10社は2月使用分(3月請求分)の家庭向け電気料金を発表。火力発電所で使う燃料の価格上昇などを受けて東京電力など9社が前の月より引き上げた。東電は一般家庭の平均的な使用量で33円高い7497円を見込む。政府による電気・ガス料金の補助金(電気は1月使用分と同じ1キロワット時あたり4.5円)を反映した価格になる。

《 注目商品 》

■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■フジ医療器、「サイバーリラックス マッサージチェア M25 AS-R710」

・全身を効率よくパワフルにほぐす3つのもみメカと、骨盤まわりから太もも部までしっかりアプローチする大型エアバッグを新搭載した「サイバーリラックス マッサージチェア M25 AS-R710」を発売。仙骨の周辺を集中的にマッサージする「坐骨ほぐしメカ」を新搭載。



■DAIKEN、施設向け室内ドア・木質ボードがSuMPO EPDを取得

・施設向け室内ドア「OMOIYARI(ドア本体)」と、同社グループの海外工場で製造する木質ボード「MDF」が、SuMPO環境ラベルプログラム「SuMPO EPD」を取得したと発表。SuMPOEPDは、サステナブル経営推進機構が管理運営するEPDプログラム。

